

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

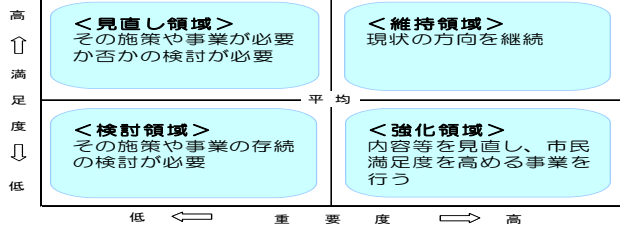
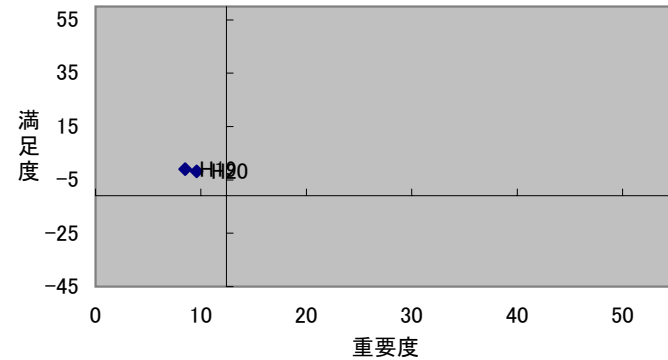
施策名 (小項目)	ごみ処理	コード	作成者	役職	環境課長
		01-01-14	氏名	宇野信行	
			電話	64-1821	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	備前市民の生活環境の保全のため、備前市内で発生する一般廃棄物を収集し、適正かつ効率的に焼却や選別等の中間処理及び最終処分を行う必要がある。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	現在、平成25年度を目処に協議中のごみ処理広域化を視野に入れつつ、現有施設の延命化を図ることが必要であると同時に、循環型社会の構築を目指し、リサイクル施設を整備し、ごみの減量化・資源化を推進することが必要である。また、備前・日生・吉永それぞれの地域でごみの収集・処理体系が異なることから、統一した処理への移行を目指す。平成20年度において、廃棄物減量化・資源化対策等推進協議会を開催し、ごみ処理の統一化について協議する予定としている。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環型社会の構築</li> <li>ごみの減量化・資源化の推進</li> <li>現有施設の延命化</li> <li>リサイクル施設を整備</li> <li>ごみ処理広域化の推進</li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	8.5	9.6	
満足度(%)	-1.0	-1.8	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	ごみ処理の有料化を導入していることから、経済的な負担が大きいとの声がある。その一方で、ごみの減量化・資源化への取組意識は高まってきている。また、ごみ収集・処理体系及び費用負担が統一されていないことから公平なサービスと負担という観点からの統一を望む声が多い。
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合	目標	%	90	90	90	90	90		市民意識調査結果
	実績	%	79.5	84.1	87.3				
	達成率	%	88.3	93.4	97.0				
2 ごみの総排出量	目標	t	13,000	12,500	11,500	11,000	10,000	9,000	排出量の推移により課題が見つかる
	実績	t	13,297	12,787	11,966				
	達成率	%	97.8	97.8	96.1				
3 ごみの資源化量	目標	t	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	資源ごみ量
	実績	t	995	737	779				
	達成率	%	99.5	73.7	77.9				
4 年間の焼却量	目標	t	10,000	9,500	9,500	9,500	8,000	6,500	延命策の検討資料となる
	実績	t	10,228	10,237	10,306				
	達成率	%	97.8	92.8	92.2				

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接 事業費		
				H17			H18			H19					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 循環型社会推進事業	C	循環型社会推進事業	その他単市				0	1,655		0	837	0.11	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	0
2 ごみ減量事業	B	資源ごみ回収推進事業	単市補助給付	10,170			10,786		9,936				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	7,250
		廃棄物減量化・資源化対策等推進協議事業	その他単市	0	6,540		0	3,935		0	1,026	0.17	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	338
3 不燃物前処理事業	C	生ごみ処理容器購入費補助事業	国県補助事業	4,714			2,546		770				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	840
		不燃物前処理委託事業	その他単市	29,400			24,990		24,990				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	24,990
		ガラスびん処理委託事業	その他単市	385			101		0				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	0
		不燃物前処理場維持管理事業	施設維持管理	2,134	7,052		1,080	6,565		1,572	7,172	1.09	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	1,387
4 指定ごみ袋事業	B	指定ごみ袋事業	その他単市	32,566	2,205		7,538	1,405	14,352	1,858	0.29	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	17,703	
5 生活環境改善事業	B	環境衛生改善補助事業	単市補助給付	6,168	3,105		2,999	3,160	2,152	939	0.12	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	2,200	
6 塵芥収集事業	B	塵芥収集事業	その他単市	78,486			72,582	115,593	80,108	118,984	21.28	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	74,632	
		塵芥収集車購入事業	その他単市	6,120	118,665		5,826		0	0	0.00	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	0	
7 クリーンセンター備前維持管理事業	B	クリーンセンター備前維持管理事業	施設維持管理	124,659			85,086		67,038				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	67,241
		全国都市清掃会議負担金	その他単市	80			80		80				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	80
		全国都市清掃会議中国・四国地区協議会負担金	その他単市	2			0		0				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	2
		東備環境施設連絡協議会負担金	その他単市	30			30		30				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	30
		廃棄物処理施設技術管理者協議会費	その他単市	30	31,473		30	26,535		30	26,081	3.53	☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	30
		岡山県廃棄物処理施設整備等促進協議会負担金	その他単市	30			30		30				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	30
		岡山県適正困難処理指定廃棄物対策協議会負担金	その他単市	20			20		20				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	20
		職員研修会等参加負担金	その他単市	94			17		38				☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆	人件費のみ	48
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				426,817	187,273	412,878	184,368	404,903	178,567	30.03	344,303				

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
市民課	消費生活	マイバッグ運動の推進

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	3	ごみの総排出量、資源化量、年間焼却量の目標達成率がやや低いが、今後の取組により達成可能な目標である。	3	適正な事業実施ができています。さらに努力が必要である。
2 事業構成の適当性	3	事務事業はH18年度17事業をH19年度13事業にまとめた。事業構成について、さらに改善すべきである。	3	生活環境の保全対策事業であり妥当である。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	2	ごみの総排出量、資源化量、年間焼却量の目標は達成率がやや低く、未達成である。ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合は達成率97%と高い。	3	地域間格差の問題点はあるが、ごみの減量化、資源化が図られており有効な施策である。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	ごみ焼却維持管理事業については燃料、薬剤、電気代軽減に向けての努力をすすも、効率的な収集を検討する必要がある。最終処分場維持管理事業については、より一層の資源化を図り、施設の延命化に努める必要がある。市民に対しても資源化・減量化の啓発に努めること。			
二次評価者コメント 役職 民生部長 氏名 鶴川 晃匠	ごみ焼却維持管理事業については、各地域ごとに役割分担することによる効率的なごみ処理の実施ができています。不燃物前処理では、埋立量の削減と資源化物の売掛量の増により資源化率は大幅に上がっている。塵芥収集では、分別収集の拡充を目指しながら、分別数の増加と収集の要素をバランスよく取り入れており一定の成果を収めている。			基本施策への貢献度 <b>3中立</b>

